

* 竹田市感染症情報(竹田市独自集計) *

10月

令和7年第41週 (10月6日～10月12日)

大分県は「インフルエンザ流行期」に入りました

先週、大分県では、定点医療機関からの患者数が第39週から2週連続して1.0人を超え、流行地域が県内に拡大していることから、インフルエンザが流行期に入ったと判断しました。今週の竹田地域の調査医療機関からの感染者数は1人でした。豊肥管内ではインフルエンザが定点あたり0.40人で、A型とB型の報告がありました。大分県全体では、定点あたり2.72人と先週の1.45人から増加しました。

基本的な感染対策(手洗い、うがい、換気、咳エチケット)を行い、引き続き注意しましょう。重症化予防と感染拡大防止のため、インフルエンザおよび新型コロナウイルス感染症の予防接種もご検討ください。詳しくは、お住まいの自治体へお問い合わせください。

ダニ媒介感染症にご注意ください

春から秋にかけて、草むらや山林などに生息するマダニの活動が活発になります。屋外での活動中にマダニに刺されることで「重症熱性血小板減少症候群(SFTS)」や「日本紅斑熱」などの感染症にかかることがあります。また、SFTSを発症したネコやイヌなどに咬まれたり、体液に直接触れることでも感染した事例が報告されています。大分県および全国では、2025年9月時点でのSFTSの報告数が、2013年の調査開始以降最多となりました。

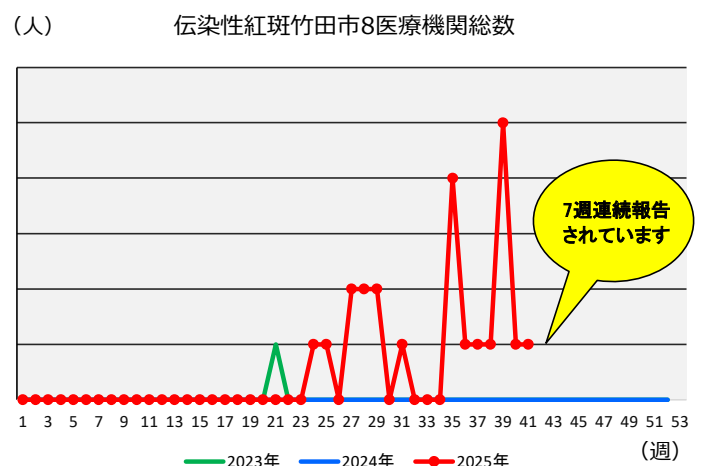
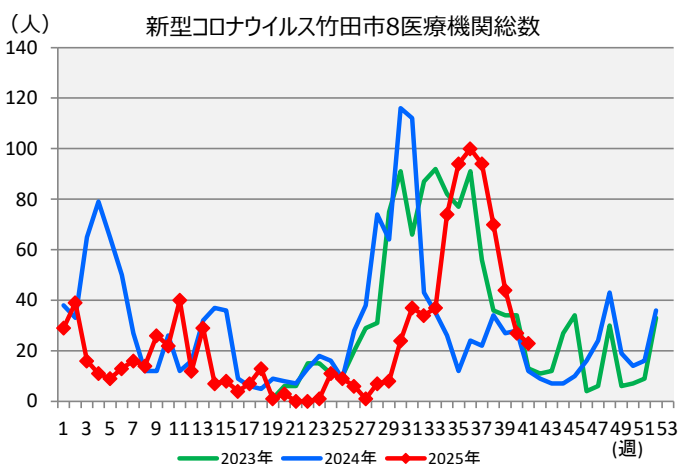
ダニに刺されないための注意点として、山や草むらに入るときは、肌の露出を避ける服装(長袖・長ズボン・足を覆う靴)を心がけ、帰宅後はすぐに入浴し、体にダニがついていないか確認しましょう。虫よけ剤使用時は、効能及び効果に「マダニの忌避」と書かれているものを用法容量を守って使用しましょう。また、ペットにダニ予防薬を使ったり、散歩の後にはダニがついていないか確認し、ペットが感染しないよう注意しましょう。



(第41週)

(調査医療機関8か所の総患者数)

疾患名 年齢	インフルエンザ			新型コロナウイルス感染症	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱(プール熱)	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘(みずぼうそう)	手足口病	伝染性紅斑(リンゴ病)	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	マイコプラズマ肺炎	麻しん(全数報告)	風しん(全数報告)	百日咳(全数報告)	つつが虫病(全数報告)
	A型	B型	不明																
0歳																			
1～3歳																			
4～6歳				1															
7～9歳											1								
10～14歳				2															
15～19歳				2															
20歳以上	1			18				3											
今週	1			23				3			1								
		1																	
70歳以上(再掲)				6															
先週				27				3	1		1								



でんせんせいこうはん

伝染性紅斑

両頬に赤い発しん（紅斑）が出ることから「リンゴ病」とも呼ばれる小児に多い感染症です。



10～20日の潜伏期間の後
微熱・かぜに似た症状

この時期にウイルスの排出が最も多くなります。



こんな症状がみられます

ほっぺたがリンゴのように
赤くなります（紅斑）

発しんが現れたときにはウイルスの排出はほとんどなく、感染力もほぼ消失しています。発しんは1週間程度で消失しますが、中には長引いたり、一度消えた発しんが短期間のうちに再び出現したりすることがあります。

予防と対策

手洗い、マスク着用など

基本的な感染症対策を心がけましょう！

伝染性紅斑の主な感染経路は、「飛まつ感染」と「接触感染」です。こどもを感染から守るため、周囲の人も基本的な感染症対策を心がけましょう。

妊娠中又は妊娠の可能性のある方へ

これまで伝染性紅斑に感染したことのない女性が妊娠中に感染した場合、胎児にも感染し、胎児水腫などの重篤な状態や、流産のリスクとなる可能性があります。熱や倦怠感が出現した後に発しんが出るなど、伝染性紅斑を疑う症状がある場合は、医療機関に相談しましょう。また、感染しても症状がないこと（不顕性感染）もあるため、周囲に伝染性紅斑の人がいる場合は、妊婦健診の際に、医師に伝えてください。



詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください

厚生労働省

感染症対策課 2025年5月作成

